

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)という国際調査

☐ PCT規則12.4という国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3という国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第\_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第\_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第\_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第\_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第\_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第\_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第\_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第\_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第\_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

第\_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第\_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第\_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第\_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第\_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第\_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第\_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

## 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の作成

次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 13-25

理由：

☒ この国際出願又は請求の範囲 13-25 は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

請求の範囲 13-25 は治療による人体の処置方法に関するものである。

☐ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 \_\_\_\_\_ の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

☐ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 \_\_\_\_\_ が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 13-25 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

☐ 提出されていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1 - 6	有
	請求の範囲	7 - 12	無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1 - 12	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1 - 12	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

国際調査報告で提示した文献

- 文献1: JP 4-282324 A  
 文献2: JP 2002-536332 A  
 文献3: JP 2001-294526 A  
 文献4: WO 02/30425 A1  
 文献5: WO 01/76573 A2  
 文献6: 駒井亨, Bio Clin, VOL. 17 NO.10; PAGE. 918-923, 2002.09.10  
 文献7: McFarlane SI et al. J Clin Endocrinol Metab. 2002 Apr;87(4):1451-8.  
 文献8: Freeman DJ et al. Circulation. 2001 Jan 23;103(3):357-62.  
 文献9: Mangaloglu L et al. Metabolism. 2002 Apr;51(4):409-18.  
 文献10: Cingozbay BY et al. J Int Med Res. 2002 Jan-Feb;30(1):21-5.  
 文献11: Paolisso G et al. Atherosclerosis. 2000 May;150(1):121-7.  
 文献12: Dumont AS et al. J Neurosurg. 2001 Sep;95(3):466-71.  
 文献13: Usui H et al. Nephrol Dial Transplant. 2003 Feb;18(2):265-72.  
 文献14: Sowers JR. Am J Cardiol. 2003 Feb 20;91(4A):14B-22B.

請求の範囲 7-12について

文献1-5、7、12-14には、糖尿病または糖尿病合併症を治療ないし予防するためにHMG-C o A還元酵素阻害剤を適用することが記載されている。したがって、上記請求の範囲は新規性・進歩性を有さない。

請求の範囲 1-12について

文献6、7には、HMG-C o A還元酵素阻害剤と糖代謝の関係についてが記載されている。したがって、当業者であれば、当該文献の記載に基づき、各種のHMG-C o A還元酵素阻害剤の糖代謝についての効果を検討することは、容易になし得ることである。したがって、上記請求の範囲は進歩性を有さない。